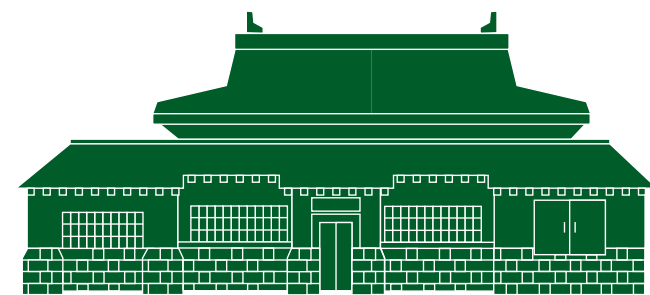
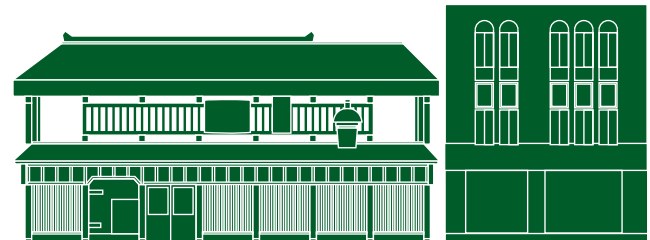


カナザワ ケンチク サンポ vol.5

オウミチヨウ・オワリチヨウ・オオテマチ
カズエマチ・シモシンチヨウ・カナザワジョウ
金沢建築散歩 近江町・尾張町・大手町・主計町・下新町・金沢城



CITIZEN'S CULTURE MUSEUM



FUKUHISAYA ISHIGURO DENROKU SHOUTEN



MITA SHOUTEN



KANAZAWA BUNGEIKAN



KUROMONMAE PARK

KAHOKUMON

エドケンチク メイジケンチク

A1 A2 武家屋敷寺島蔵人邸
THE OLD SITE OF MR.KURANDO TERASHIMA'S HOUSE

B1 B2 福久屋石黒傳六商店
FUKUHISAYA ISHIGURO DENROKU SHOUTEN



A1 乾泉
Ken-sen

満天星(ドウダンツツジ)の名所

庭園の名称「乾泉」の由来になっている、水の
ない枯池を中心に巡るようにつくられた池泉回遊
式庭園。飛石や石橋などには、地元の戸室石や浦
坂石を用いており、蔵人が造らせたという



A2 中級武士寺島蔵人
Kurando Terashima

築230年の邸宅跡

加賀藩の中級武士であった寺島蔵人の築約
230年の邸宅跡。南側小路に面していた長屋門
は失われましたが、現存する家屋、土蔵、土塀が
中級武家屋敷の形態を伝えています。2階には
画家としても知られる蔵人の画室であった「白
雲深処」、1階には琴の音が共鳴するように天
井が弓状になっている四畳の間が残っており、
当時の文化水準の高さを感じられます。



B2 町家とモダンビルディング
Machiya and Modern building

20代続く現役薬局店

石黒家は現当主で20代にもなる由緒ある名家で
あり、7代目から代々傳六(でんろく)を襲名して
います。建物は嘉永5年に建築され、現在も現役の
薬局店です。元々間口は13間でしたが、大正15年

青戸室石三重九輪の塔もその一つ。樹高3〜4
mにも達するドウダンツツジが春に開花、秋に
は赤ではなく、黄金色に紅葉する姿も見所。



B1 虫籠窓と簀虫籠
Mushikomado and Sumushiko

防火目的の知恵

大屋根は腕木構造、2階壁面は白漆喰塗で、明
かり取りや風通しのための虫籠窓になっており、
左右には防火が目的とされる袖壁も見ること
が出来ます。今は失われましたが、明治期には
細い竹材を使った簀虫籠(すむしこ)が1階
右側6間にわたり続いていました。吹き抜けの
ある通り庭には、薔、井戸、流しがそのまま残
されています。



B2 町家とモダンビルディング
Machiya and Modern building

20代続く現役薬局店

石黒家は現当主で20代にもなる由緒ある名家で
あり、7代目から代々傳六(でんろく)を襲名して
います。建物は嘉永5年に建築され、現在も現役の
薬局店です。元々間口は13間でしたが、大正15年

に建物右側のモダン建築を建てた際に右側3間を
削り、現在は間口10間となっています。どちらの
建物も、改修・改造を重ねながらも昔の姿を残し
現存しております。

C1 C2 黒門前緑地 旧高峰家・旧検事正官舎
KUROMONMAE PARK

D1 D2 町民文化館
CITIZEN'S CULTURE MUSEUM



C1 高峰譲吉の生家

The old house of Jokichi Takamine

アドレナリンを発見した金沢の偉人

アドレナリンを発見した高峰譲吉の生家のはな
れを移築したもので、明治5年に建てられまし
た。杉の角柱の床柱に、杉磨丸太の床樑が付いた
床がある九畳の茶室と、四畳半の板床を取込んだ



C2 旧検事正官舎

The old residence of a prosecutor

明治43年建築のものを移築

正面右の玄関側の建築は明治43年に建築され
た旧検事正官舎を移築したもの。元々は兼六園
下にあります。白の洋風下見張りの応接間
や、格子天井の10畳座敷などは、当時の近代和
風建築の特徴をあらわしています。



D2 和洋折衷による重厚感
Compromise between East and West

銀行当時の重厚感

内装は、ローマ建築等に見られる円柱を木造り
の角柱で再現するなど、西洋建築の形や技法を
大工の棟梁達が独自に応用して取り入れ、白漆
喰と艶色のニスで仕上げてあり、和洋折衷の不

茶室が並び、どちらの天井にも江戸ササ屋の襖
紙が貼られています。奥にある三畳の水屋は船底
天井となっていて、小さな空間に変化と広がり
を与えています。



D1 黒と赤のコントラスト
The contrast between black and red

明治40年建築の元金沢貯蓄銀行

築約110年、明治40年に建てられた元金沢貯
蓄銀行。外観は黒漆喰仕上げの塗籠土蔵造りで、
腰壁には金沢の赤戸室石が使用され、黒漆喰と赤
戸室石のコントラストがアクセントの和風城郭のよ
うな造りとなっています。

ショウワロマン

E1 E2 金沢文芸館
KANAZAWA BUNGEIKAN

F1 F2 三田商店
MITA SHOUTEN



E1 銀行の面影と共に
Memory of the bank

昭和4年の銀行建築を文芸館に

銀行時代の受付カウンターは幅を削った後にサ
ロンの中央に配置。金庫はミニギャラリーへの
重厚なエントランスとなり銀行の面影を残しま
す。2階の五木寛之文庫は、五木さんご本人のブ



E2 金沢文芸館
Kanazawa Bungeikan

金沢文芸活動の拠点

金沢の文芸活動の拠点、発信基地である金沢文
芸館。元々は昭和4年に銀行として建てられ、以
降この界隈のランドマークとして親しまれてき
ました。閑居化された擬ルネサンス様式の建築
で、変形した敷地に合わせて斜めに折れ曲がっ
て建っています。ファサードはフリーズとコ
ニースという水平の帯帯が上下を2層に分けて
おり、正面玄関の左右にはイオニア式の角柱付
け柱が配されています。



F2 ファサード
Facade

帝国劇場がモデル

交差点に面する曲線部に設けた正面玄関の左右
にはコリント式柱頭飾り、玄関横間にはステンド
グラスがはめ込まれています。2階にバルコニー
風の窓台を据え、窓頂部には持ち送り装飾とし

ロデュースにより書斎のような落ち着いた佇ま
い。元会議室だった3階の文芸フロアは、構造梁
を露出させた天井が創建時に近い状態の広間空
間を再現しています。



F1 商いの歴史
History

ステンドグラスを再利用した喫茶店

藩政末期創業の輸入小間物商を営んでいた三
田商店が、昭和5年に店舗として建築しまし
た。洋品から雑貨、最新の電化製品と、ミニデ
パートのように種々のものを扱い、現在は絵と
骨重品のギャラリーとなっています。「関西ス
テインド磁器製作所」の代理店をも務めていた
ため、その当時のステンドグラスを再利用した
喫茶店も併設されており、まさに商いの歴史を
感じさせる建築です。



F2 ファサード
Facade

帝国劇場がモデル

交差点に面する曲線部に設けた正面玄関の左右
にはコリント式柱頭飾り、玄関横間にはステンド
グラスがはめ込まれています。2階にバルコニー
風の窓台を据え、窓頂部には持ち送り装飾とし

これであなたも主計町通！

カズエマチの レキシをマナブ

金沢にある三つの茶屋街の一つで、明治期に成立しました。町名の由来はかつてここに上屋敷を構え
ていた人持組頭の富田主計からきており、浅野川横にあることから「ながれ」と呼ばれたことも。1
度は尾張町に吸収され町名が消滅したものの、平成11年に全国で初めて旧町名を復活させました。
木虫籠(きむすこ)と呼ばれる格子窓が特徴的で、格子を台形型にすることで、中から外を見やすく、
外からは見えにくくし、お客のプライバシーを守っていました。



A あかり坂
Akariizaka

五木寛之氏により命名

長い間名無し坂でしたが、平成20年に金沢ゆか
り作家である五木寛之氏によって名付けられ
ました。泉鏡花のあけの明星をよんだ句に由来
しています。狭くカーブした石段に吸い込まれ
るような不思議な魅力をもっています。



B 暗がり坂
Kuragarizaka

薄暗かったことから名が付いた

頭上に雑木が茂り、薄暗かったことから付いた
名は暗がり坂。若者たちは、義経の穴甲山を越え
ての平家攻めになぞらえ、この坂をこえてお茶
屋に繰り出すことを「ひよどり越え」と呼んでい
ました。

リノベーション

近頃話題になっているリノベ。元々の性能に付加価値を付け、用途や機能を一新させ、より豊かに活
用することを意味します。見渡せば金沢の古き良きまちなみの中にもリノベが溢れています。主計
町・橋場町周辺にもリノベの風が吹き始め、新しいコミュニティが生まれ始めました。リノベはまち
づくりにおいても鍵を握っているのです。



C 八百萬本舗・外部
Yaoyoroz-honpo/outside

旧志村金物店

増改築を重ねた100坪を超える木造2階建ての
旧志村金物店が、昔ながらの佇まいを残したま
ま、セレクトショップに、商店の記憶を引き継ぐ
土間空間に、明かりを取り入れる坪庭まで、長い
歴史に新しさが織り込まれています。



D 八百萬本舗・内部
Yaoyoroz-honpo/inside

生活の中の遺構

店内の右奥の廊下に2つの小窓、床下には用水
の九人橋川の流れ、東恩恵橋跡の石垣が家を横
断している様子を覗くことができます。加賀百
万石の歴史は、生活の中に溶け込んでいるので
す。

これであなたも尾張町通！

オワリチヨウの レキシをマナブ

前田利家が尾張名古屋の出生地から連れてきた御用商人を移住させたことが町の始まりと言
われています。当時は実績により藩主に誘致された大店だけが並ぶ、加賀藩の表看板の商人
町でありました。世の中が一変した明治維新後も、洋品雑貨・巻煙草屋・ランプ屋等流行の最
先端の物品を扱い、近江町と共に繁華街として栄えていました。当時の繁栄の証は、今も通り
に面する広い間口の大型店舗として残っています。



A 北国街道
Hokkoku kaido

江戸往来の北陸路

江戸時代の初めに加賀藩の参勤交代や家臣の
ため、江戸往来のために整備された北陸路のこ
とです。加賀藩主の参勤交代は、金沢城の大手門
より出発し、尾張町通りに出、右折し橋場町から



B 金沢城
Kanazawa castle

石垣の博物館

元々は一向一揆の拠点であった金沢御堂の場
所に、佐久間盛政が城を築いたのが始まりで
す。前田利家の入城後に本格的な城造りが行
われました。城跡は陸軍の拠点、金沢大学の



C 望楼
Watchtower

金沢城を見るひととき

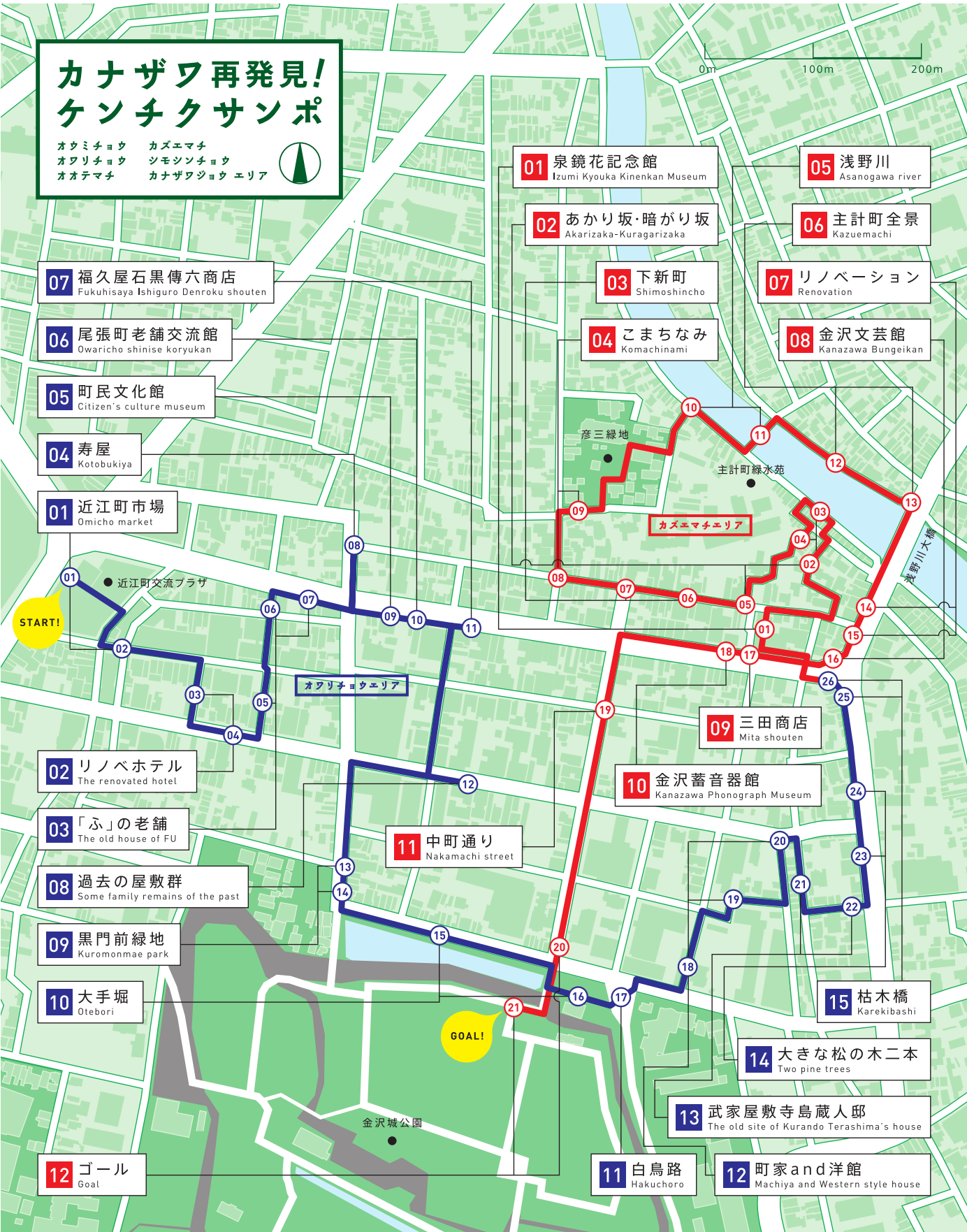
創業天保13年、170年以上続く老舗の塗装
専門店森森商店。尾張町ではよく目にする、
屋根の上にのっかる小部屋は、遠くを見るた
めの望楼。金沢城などを眺めるために使われ
ていました。



D ごっぽ石
Goppoishi

三田商店の玄関先に注目

下駄で雪道を歩いた際に、歯の間に詰まった雪
を落とすために使用されていた。足が雪に
埋まることを指す「ごぼる」という金沢の方言
から付いた名前と言われていますが、石に下駄
をぶつけた時の音という説もあり。



さあ、オワリチヨウ をあるいてみよう!

KANAZAWA KENCHIKU SANPO ORIGINAL COURSES

加賀藩唯一の繁華街だった尾張町、金沢三茶屋街のひとつ主計町。藩政期の面影が色濃く残り、金沢の歴史が積層したこのエリア。江戸・明治・大正・昭和・平成を自由に行き来できるタイムトラベルへようこそ!

金沢工業大学
宮下研究室の
学生が取材!

サンボジカンノメヤス 01—26 オワリチヨウエリア 徒歩約45分 01—21 カズエマチエリア 徒歩約40分



01 近江町市場
Omicho market

ちょっと寄ってきまっし

⑩「姉さんちょっと寄ってきまっし!」ここに来れば40歳でも60歳でもお姉さん。金沢市民の舌を肥えさせ続けて早400年、今日も市民の台所は大賑わい。⑫鮮魚にコロッケに串焼きと、お腹の容量を優に超える誘惑にどうぞ負けてください。食べて、味見して、心も大満足。



02 リノベホテル
The renovated hotel

サンボ仲間ができるかも

⑬店先だけが市場じゃございません。店の裏をひっきりなしに出入りする車と人は、新鮮な市場の証拠。⑭ビジホをリノベーションした話題のホテルには、宿泊客以外も立ち寄れるカフェが。本日のサンボ仲間ができるかも。



03 「ふ」の老舗
The old house of FU

ふふふのふ

⑮古い町家といちはのエリアのちょうど境目。車通りも多いのでお気を付けて。⑯目の前に「ふ」の文字が見えましたか? 金沢料理に欠かせない鮎は、味形共に種類が豊富。作り続けて150年、これが老舗でございます。⑰醬油屋に酒屋、何やら専門店が目立ってきました。



04 寿屋
Kotobukiya

江戸末期建築の老舗料亭

⑱町並みの中でひと際目立つこちは、江戸時代末期建築の金澤町家の老舗料亭。明治中期の書院造りの群青壁の座敷、大正時代初期の茶室、昭和初期の近代和風の広間と、各時代の金沢の風情が盛り込まれています。



05 町民文化館
Citizen's culture museum

昔の金沢貯蓄銀行

⑲グレーの壁でどっしりと構えるこちは町民文化館、昔の金沢貯蓄銀行です。商人町に銀行は欠かせません。屋根は入母屋造りで、横上には一對のシャチがあり、横瓦には「貯」の文字が入っています。



06 尾張町老舗交流館
Owaricho shinise koryukan

ずらりと並ぶ白黒写真

⑳眼鏡屋の建物を利用した老舗交流館の中を覗くと、ずらりと並ぶ絵と写真、町の人々から集めた貴重な写真から、金沢経済の中心であった古い洋館、右手には町家と、ケンチク探求心をくすぐられますが、内部公開はされていないので穴場です。



07 福久屋石黒傳六商店
Fukuisaya Ishiguro Denroku shouten

嘉永5年建築の薬局

㉑石黒家は現当主で20代にもなる由緒ある名家であり、7代目から代々傳六(てんろく)を襲名しています。建物は嘉永5年に建築され、現在も現役の薬局です。



08 過去の屋敷群
Some family remains of the past

加賀八家 前田家跡

㉒通りを抜けると、ビルがずらりと建ち並びます。ちょうど目の前は加賀八家のひとつ前田家(長種系)の屋敷跡地。この大きな区画が過去の屋敷群を物語っています。



09 黒門前緑地
Kurumonmae park

高峰譲吉の邸宅

㉓真っ白なのが掛った金澤町家のゲストハウス。住むように泊れます。㉔前田利家の四女集めた貴重な写真から、金沢経済の中心であった古い洋館、右手には町家と、ケンチク探求心をくすぐられますが、内部公開はされていないので穴場です。



10 大手堀
Otebori

金沢城で最も大きい石はどれ

㉕さて、もうお気づきでしょう。目の前に広がるのは金沢城のお堀、大手堀です。誰も悠々と泳いでいます。㉖大手門の石垣には金沢城で最も大きい石が使用されています。さてどの石のことでしょう。



11 白鳥路
Hakuchouro

ホタルの名所

㉗堂々たる白鳥の像の後ろに続くのは数々の彫刻が並ぶ白鳥路。夏には、多くのホタルを鑑賞できる名所でもあります。ホタルを求めて、暗闇に大勢の人が押し掛ける光景も新たな夏の風物詩?



12 町家and洋館
Machiya and Western style house

ケンチク探求心をくすぐる

㉘しゅっとのびる煙突がアクセントになっているのはドラマに出てきそうな静かなお屋敷。㉙住宅街の細い道を曲がって曲がって、㉚左手に古い洋館、右手には町家と、ケンチク探求心をくすぐられますが、内部公開はされていないので穴場です。



13 武家屋敷寺島蔵人邸
The old site of Mr.Kurando Terashima's house

中級武士の邸宅

㉚中級武士の邸宅の一部が残る寺島蔵人邸。庭を歩くこともでき、ドウダンツツジの春の開花、秋の紅葉は必見です。㉛建物の間からひょっこり覗くのは、卯辰山。昔は金沢城一望できることから、庶民の登山は禁止されていたが、今ではドライブに満足にと24時間登り放題。



14 大きな松の木二本
Two pine trees

立派なアイコン

㉜最近近所からお引っ越ししてきた菓子司森八本店。390年という歴史を感じさせる、千数百年もの菓子木型の展示は圧巻。㉝通りの向こう側には大きな松の木が二本。手前は大礎を扱う美術館の松の木。奥は由緒正しき料亭の松の木。2本とも立派なアイコンです。



15 枯木橋
Karekibashi

ケンチクサンボツウなら

㉞ケンチクサンボツウなら一目見て気づく、惣構堀。ここにも顔を出しております。㉟「橋の傍らに枯れ木があったから。」付けられた名は枯木橋。道路と一体化していて、橋となかなか気づいてもらえませんが、今の石橋となって120年、木橋時代から数えると400年前からここで頑張っています。



㉟遠くに見える、突き当たりの立派な料亭まで、お店がぼつぼつ続きますが、ここで右折。藩士の家の跡地が見えたら正解です。㊱「堀・前庭・妻入り屋根」、武士系住宅の特徴三点セット。これらが多く残るこの彦三町は、こまちなみ保存区域(旧彦三一番丁・母衣町区域)に指定されています。



01 泉鏡花記念館
Izumi Kyouka Kinenkan Museum

泉鏡花のふるさと

㊲誰もが一度は目にしたことがある工業デザイナー柳宗理の名作の数々をご覧いただいた後に中庭へ。金沢の文豪、泉鏡花の記念館へと繋がります。鏡花はここで生まれ育ちました。



02 あかり坂・暗がり坂
Akarizaka-Kuragarizaka

明治期形成の茶屋街

㊳建物の合間を縫うようなこちらの坂はあかり坂。㊴尾張町や橋場町周辺が繁華街だった明治期に形成された茶屋街、主計町。㊵昼間も光があたらず暗いことから、そのまま名前は暗がり坂。覚えやすいでござんす。㊶町中の玄關先には、文豪泉鏡花の愛したうさぎが描かれたあんどんが。



03 下新町
Shimoshincho

尾張町の拡大によって出来た町

㊷尾張町の町の拡大に伴って出来たのがここ下新町。パン屋に、蕎麦屋に、佃煮屋。ふらりと食べれるにやもってこい。㊸子供達の声が響く中、駐車場の向こう側では用水が顔をのぞかせています。



04 こまちなみ
Komachinami

武士系住宅3点セット

㊹遠くに見える、突き当たりの立派な料亭まで、お店がぼつぼつ続きますが、ここで右折。藩士の家の跡地が見えたら正解です。㊱「堀・前庭・妻入り屋根」、武士系住宅の特徴三点セット。これらが多く残るこの彦三町は、こまちなみ保存区域(旧彦三一番丁・母衣町区域)に指定されています。



05 浅野川
Asanogawa river

眺めよし

㊲川に突き当たって左手を眺めます。古き良き景観を壊さぬよう、茶屋街と連続して高さを抑えた建物が浅野川沿いに建ち並びます。これが長年の街の努力ってやつです。㊳水道の「中の橋」は、掘ってもよし、歩いてもよし、眺めてもよし。



06 主計町全景
Kazuemachi

黒瓦の街並み

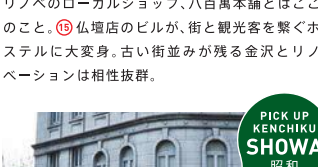
㊴川の反対側から主計町を眺めれば、釉薬を塗って焼いた、艶のある黒瓦の街並みに心奪われるはず。㊵三連アーチの浅野川大橋は、桜に友禅流しに灯篭流しと、年中通して見どころ満載。いつ通っても、思わず立ち止まり眺めてしまう景色あり。それゆえ人の渋滞にはご注意ください。



11 中町通り
Nakamachi street

参勤交代のメインストリート

㊶真っすぐに続く道の先には金沢城。190回も行ったとされる江戸への参勤交代は、この中町通りを利用していました。上級武士ばかりが住むお屋敷街だったこの一帯には、参勤交代の度に、江戸の文化や工芸が持ち帰られ、まさに流行の最先端をゆくイケイケースポットでもあったわけです。



12 ゴール
Goal

金沢城正門・河北門がゴール

08 金沢文芸館
Kanazawa Bungeikan

昭和ロマンのランドマーク

㊹交差点の向こう側、ランドマークとしてひと際目立つのは文芸館。夜はオレンジの光に浴び込み、気分は昭和ロマン、何とまあロマンチック。



09 三田商店
Mita shouten

商売の歴史を語るレンガ風建築

㊲ページと茶色の外壁が目印の三田商店。大正ロマンな西洋風で昭和5年に建てられました。建物のみならず、洋品、雑貨、電化製品、絵と骨董品と、時代に応じて変貌した商売の歴史もあり。



10 金沢蓄音器館
Kanazawa Phonograph Museum

暖かい音色

㊳約600台の蓄音器を収蔵する、金沢蓄音器館。尾張町のレトロモダンな町並みに、暖かみ溢れる蓄音器の音はびったり。



11 中町通り
Nakamachi street

参勤交代のメインストリート

㊶真っすぐに続く道の先には金沢城。190回も行ったとされる江戸への参勤交代は、この中町通りを利用していました。上級武士ばかりが住むお屋敷街だったこの一帯には、参勤交代の度に、江戸の文化や工芸が持ち帰られ、まさに流行の最先端をゆくイケイケースポットでもあったわけです。



12 ゴール
Goal

㊹金沢城は石川門が正門だと思われがちですが、実際は河北門こそが実質的な正門でありました。そこに通ずるのがこの先にある、大手門。今はとても静かな佇まいです。㊱さてさて広がる芝生の先に見えるのは金沢城です。明治以降は軍事の拠点、戦後は金沢大学のキャンパスと、転機を重ね、現在は金沢城公園となりました。復元整備工事は年々進み、公開範囲が拡大中。

